

☆市民活動をFMラジオで発信☆

『つなげよう！市民のチカラ！』

○第95回：2023年5月28日（日）

○ゲスト：ドナー登録説明員

あおもり骨髄ドナー登録募る会

代表 佐藤 孝治（サウ コウジ）さん



写真：佐藤さん

○ 放送内容

今回の放送では、ドナー登録説明員として活動されている、あおもり骨髄ドナー登録募る会代表の佐藤孝治さんをゲストにお招きしました。佐藤さんには、ドナー登録説明員として実際に行っている活動をはじめ、日本骨髄バンクが行うドナー登録の取り組みなどについて、お話しいただきました🍵

◆ ドナー登録説明員とは？

ドナー登録説明員とは、主に献血バスと一緒に活動し、献血と一緒に骨髄のドナー登録の募集を行っています。ドナー登録の説明や、献血の際に2ミリリットルの採血でドナー登録ができることなどを呼びかけていらっしゃいます。骨髄移植は白血病の治療に使われるため、白血球の型を調べてその型を登録する仕組みになっていますが、様々な事情で登録してもなかなか提供に至らないケースも多いそうです。

◆ ドナー休暇制度について

ドナー休暇制度とは、企業が休暇制度を設けている場合、実際にドナーになった際に休暇を取ることができる制度です。現時点で青森県内で制度を設けている企業は3社あります。この制度がもっと普及して、ドナーが提供しやすい環境になれば患者さんも助かる方が増えてくるはずだと佐藤さんはおっしゃっていました。また、ドナーになってから提供までに大体120日から150日の間くらいの期間がかかりますが、それに合わせて患者の方も治療計画を立てています。期間は非常に長いものの、ドナーの体のことを考えて、慎重に慎重を期してやっているそうです。

◆ 市町村が行うドナー支援制度について

青森県内の市町村では、ドナーになり骨髄を提供された方に対して給付金を支給するドナー支援制度が実施されています。青森県内では40市町村の中で30市町村が制度を設けており、弘前市でも「骨髄移植ドナー支援奨励金」という事業で行っています。

◆ 最後に

この放送を機会に、ドナーになっていただける方とドナー休暇制度を設ける企業が増えてくれるとうれしいと佐藤さんはおっしゃっていました。皆さんも、まずは献血を行うことから初めてみてはいかがでしょうか！